

かがやき



大正琴の演奏（JAはが野女性会）

かがやく町民のつどい

2008年 2月 2日(土)



天使の歌声（芳賀東小合唱部）

主な内容

- かがやく町民のつどい
- 視察研修
- 子育て支援の輪
- 日本女性会議2007
- 小さいこえ、大きい声
- 活動のようす

「あつたらもん」を見直そう
二〇〇五年、ノーベル平和賞受賞者のワンガリ・マタイさんが来日した際に消費削減、再利用、資源再利用、修理の四つのRを一言で表す「モットアイナイ」の言葉に感銘し、世界的に広めたことで今や「モットアイナイ」は世界中の合い言葉になっています。
本県でも昔から「あつたらもん」という言葉があり、その物の値打が生かされずムダにすることが惜しいというほどの意味で「モットアイナイ」に通じます。
大量消費、大量廃棄の時代を反省し、かけがえのない地球を大切にするためにも「あつたらもん」を見直しましょう。

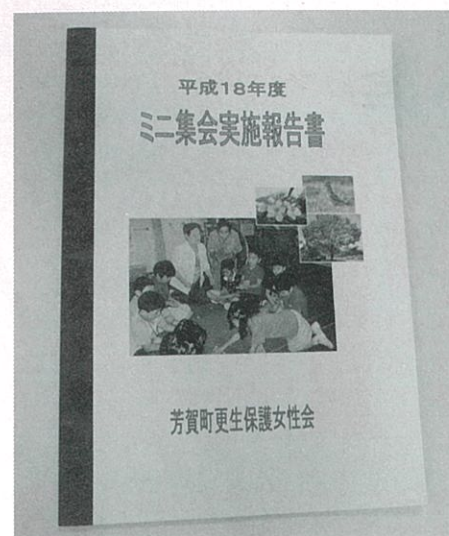
活動の様子

更正保護女性会

地域の方々と手を携えて子育て支援を

昨年度、栃木県更生保護女性連盟より、近隣の人々と身近な話題を取り上げ「人々が支え合って共に生きることの大切さ」を目指す『ミニ集会』の指定を受けました。

芳賀町更生女会は、地域で行われる集会や行事をミニ集会



ととらえ、積極的に参加し、身近な出来事など、どんな小さなことにも耳を傾けて、喜びや悩み、また日頃思っていることなどを一緒に話し合い、考え合って実施記録を冊子にまとめました。

その中で、現在も伝わる「祀りごと」や「お祭り」など、地域の人々のつながりの中で行われてきた行事では、必ず子供達の健やかな成長を祈りあっていることが分かりました。また、その姿や会話を通して、地域の子供達を地域の大人達が育て上げてきた様子も分かりました。

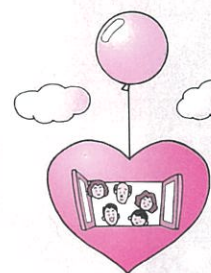
このようなことから、更生女会は、恒例になりつつある学童保育でのふれあい活動や世代間交流、子供茶道教室等子育て支援を、地域の方々と手を携えて継続していきたいと思っています。

つばさの会

つばさの会は「栃木県女性の海外研修」修了者の会で、芳賀支部は八名で活動しています。

現在の活動の中心は、男女共同参画を正しく理解していただくための紙芝居や朗読劇です。生きがいサロンに呼んでいただいたときなどは皆さんとおしゃべりも楽しく、驚いたり感心したりとたくさんのお話を学ばせていただいています。

少子化、老人福祉など社会問題の多くは男女共同参画とつながっています。子どもや孫達に少しでも住みやすい社会を残してあげたい。そんな思いに動かされて活動しています。



編集委員

- | | |
|-------|-------|
| 稲川 弘子 | 菅原 キン |
| 川又 和子 | 田川 典子 |
| 黒崎 幸子 | 綱川みね子 |
| 小堀 光子 | 廣木 初江 |
| 斎藤 芳子 | 増渕さつき |

ご協力いただきました皆様
ありがとうございました。
(委員一同)



第七回

かがやく町民のつどい

平成二十年二月二日(土)
農業者トレーニングセンター
研修室



日赤奉仕団による実演と非常食

議員、各委員の方々が、発表に耳を傾けていました。
まず日赤奉仕団による非常食の作り方の実演と試食でした。各自に配られた非常食はとても美味しかったと大好評でした。商工会女性部は活動発表と商工会女性部の歌を、更正保護女性会は、「更女ってなに？」と質問形式で会を紹介しました。

第七回町民のつどいは、芳賀町女性団体連絡協議会の団体の活動の発表を中心に開催されました。各団体の活動を知ってもらおうと企画され、一二〇名を超える参加がありました。帰りにはパンジーのプレゼントが用意されました。豊田町長をはじめ、町議会

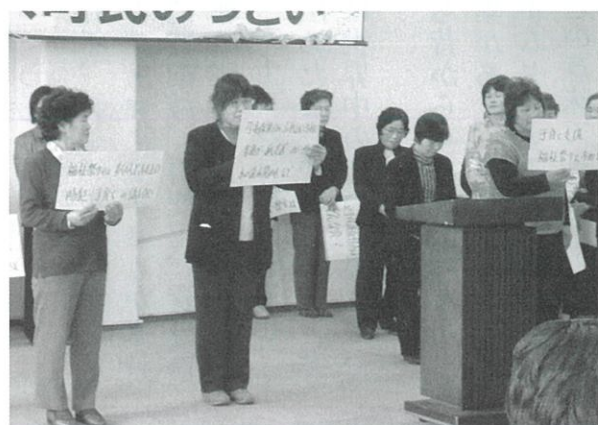
とちぎつばさの会芳賀支部は、男女共同参画社会を目指して、家族の絆「おじいちゃん編」と題しておじいちゃんの自立を、くらしの会は「ストップ・ザ・悪質商法」と題して騙されないための心構えをそれぞれ紙芝居を使って発表しました。ひばりの会では活動の紹介と共にコーヒーコー



展示発表

ナーを開設しました。今回は芳賀東小の合唱部の子供たちが参加してくれました。もののけ姫、オー・ハッピー・デイ、鬼は内の三曲を、最後にふるさとを会場の人と一緒に大合唱しました。アンコールではアメージング・グレースを歌ってくれました。その歌声には心が洗われるようでした。

発表の最後はJA女性会会員三十三名による大正琴の演奏でした。曲目は四季の歌、千の風になって、くちなしの花、雪椿の四曲でした。日頃よりの練習の成果を十分に発揮、息もピッタリの演奏に会



更生保護女性会のQ&A

場からは惜しめない拍手が送られました。農村生活研究グループの展示もあり、さつまいも作りなど日頃の活動がわかりやすく紹介されていました。
初めての活動報告形式の今回の町民のつどいは、いかがだったでしょうか。各団体とも活発に活動しています。町民の皆様にはより一層の御理解と御協力をよろしく御願いたします。

ストップ・ザ・悪質商法 催眠(SF)商法について

手口は会場に人を集め日用品などを無料で配り、最後に羽毛布団や健康器具、食器など高額な商品売りつける商法です。対処法として必要のない物は買わない。ハッキリ断る。契約する前に家族や知人に相談をする。会場へは行かない。又、クーリング・オフ制度を利用したり、困った時には消費生活センターなどに相談しましょう。



くらしの会による紙芝居

つどいアンケートより

- ・色々な話しが聞け、各団体の様子が良くわかった。
- ・紙芝居や合唱、大正琴の演奏が良かった。(多数回答)
- ・女性の会を知らなかったのが感動した。今後も継続を。
- ・会場は良いが、発表者が良く見えなかった。発表場所を高く設定したほうが良いのではないか。
- ・OHPを利用して資料を見やすいようにしたらどうか。
- ・悪質商法やクーリング・オフに関する事など勉強になった。留守を守る私には助かった。
- ・各団体を理解し多くの方が入会できるようにしてほしい。
- ・紙芝居等は集落に出前ができるのではないか。
- ・色々なご意見や、ご提案をいただきありがとうございます。今後の活動に活かしていきたいと思います。

総会

五月十九日(土)
町民会館研修室

豊田町長をはじめ、来賓の方々をお迎えして、総会が開催されました。議長には、商工会女性部の大林已恵さんが選出されました。

総会後は、十八年十月六・七日に山口県で開催された日本女性会議に参加された黒崎幸子さんの報告会がありました。



平成19年度芳賀町女性団体連絡協議会役員

役職	氏名	団体名	地区名
会長	田川典子	芳賀町商工会女性部	祖母井
副会長	斎藤芳子	芳賀町ひばりの会	東水沼
副会長	増渕さつき	芳賀町くらしの会	東水沼
書記	山本恵美子	日本赤十字奉仕団	稲毛田
〃	黒崎幸子	JAはが野芳賀地区女性会	芳志戸
〃	大塚由美	事務局	芳賀町生活センター
会計	小山佳子	とちぎつばさの会芳賀支部	祖母井
〃	綱川みね子	農村生活研究グループ	東高橋
理事	田中ハマ子	芳賀町商工会女性部	西水沼
〃	小堀光子	芳賀町商工会女性部	祖母井
〃	黒崎フサ子	更生保護女性会	上稲毛田
〃	矢口マサ	〃	東水沼
〃	船生華子	JAはが野芳賀地区女性会	稲毛田
〃	小林俊子	〃	上延生
〃	川又和子	芳賀町ひばりの会	下高根沢
〃	大根田理子	芳賀町くらしの会	西高橋
〃	福武幸子	〃	下延生
〃	黒崎夫子	農村生活研究グループ	東高橋
〃	菅原キン	日本赤十字奉仕団	下高根沢
〃	荒井三津子	〃	東高橋
〃	小筆公子	とちぎつばさの会芳賀支部	東水沼
〃	廣木初江	〃	下延生
監事	安保百合世	芳賀町ひばりの会	下高根沢
〃	小林峰子	農村生活研究グループ	東高橋
〃	稲川弘子	更生保護女性会	西水沼

ひろがれ 子育て支援の輪

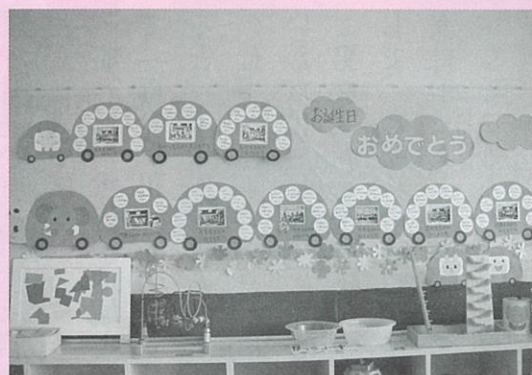
「子育て支援センター」や「あそぼう会」の情報は、
毎月の「広報はが」等をご覧ください。

芳賀町地域子育て支援センター

「あっとほーむ」

お誕生会では、人形劇な
どの出し物で、みんなでお

平成十八年度に芳賀町で
誕生した赤ちゃんは一二七
人。多くの新米ママやパパ
は不安を抱えながらの子育
て真っ最中のことでしょう。
県教委の「家庭教育に関
するアンケート」結果でも
しつけや子育てに「自信が
ない」と六割の親が回答し、
「子育てに悩みがある」と
答えたのは、どの年代の親
も八割を超えています。
(下野新聞二月二十日)
ひとりで悩みを抱え込ま
ないで、子育て支援事業を
上手に利用して、楽しく子
育てしましょうよ。
みんなで子育て応援しま
す。



毎月のお誕生会と集合写真の数々

「あっとほーむ」とモテ
ナス芳賀内の子育てひろば
「びびよ」には、ママ同
士の情報交換に気軽に書き
込める「おしゃべり&らく
がきノート」があります。
ある日のノートから
・私は他県出身で、あまり
友達もいないので、ここ

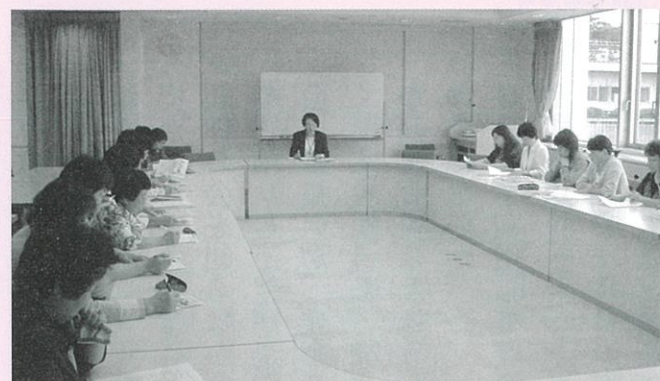


よろしくね ～子育てひろば“びびよ”にて～

でママ仲間が増えるとい
いな。
・ここに来るとたくさんの
目で見守ってもらえるの
で、私自身がとてもリラッ
クスできます。
・ウチの子はまだ歩けな
いので、外遊びができな
い分、室内の広い所で同年
代のお友達と遊べるのが
とても良いと思います。

美味しかった研修旅行

女団連の研修は、パル
ティ(とちぎ男女共同参
画センター)と太子食品
工業㈱の二ヶ所で行われ
ました。パルティでは、
事務局長の宇田川さんよ
り男女共同参画のあり方、
進め方の話しを聞きその
後館内を見学、会議室や
大きなホール、お茶や手
工芸等沢山活用できる所
でした。次に向かった太
子食品は、日光の水を使
い近代的な設備を持って
豆腐、豆乳、納豆、ゆば
を作る工場です。案内に
従いテーブルに着くと
「皆さん、豆乳から豆腐
が出来ます。豆乳にニガ
リを良く混ぜてレンジで
三分。はい出来ました。」



パルティでの研修風景

全員できたての豆腐を口
にニッコリ、他の試食品
もおよばれし大満足。雨
の日の研修でしたがなげ
か幸福な一日でした。

稲川 弘子

あそぼう会の

高原さんにお聞きしました

Q 会を作ったきっかけは？

いまでこそ、芳賀町でも子
育て支援センターや保育園の
開放日などがあり、公園整備
も進みましたが、私が子育て
した頃は、親子で遊べる場所
は何もありませんでした。そ
れならば、自分で作ってしま
おうと町の「メダカの学校」
を引き受ける形で始めました。

Q 最近の活動は？

以前は毎月のように行事が
ありましたが最近では、イチ
ゴ狩りとりんご狩りにクリス
マス会の年三回。

私の遊びにつきあってもら
うという感覚で、みんなで楽
しんでいます

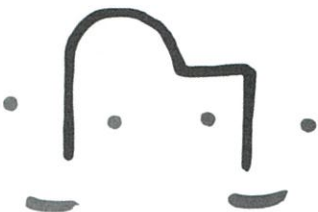


親育ちスマイルネット

栃木県教育委員会主催の
「親学習プログラム指導者
研修」の修了生で構成され、
子育てに悩む親同士が小グ
ループで話し合い、交流し
ながら子育てについて学ぶ
学習プログラム促進役を務
めます。



親学習研修修了生研修会にて ～芳賀支部立ち上げに向けて研修中～



下延生 廣木 初江

日本女性会議 2007ひろしま

大会テーマ

一人ひとり 響きあって
いま そして未来へ

2007年10月19日(金)・20日(土) 【主催】 日本女性会議2007ひろしま実行委員会・広島市

まず、参加させて頂きましたこと、大変感謝致しております。ありがとうございます。

感激し、感動し、反省し、本当に意義深い二日間でした。

真の平和とは……

広島市男女共同参画推進条例前文には「平和とは紛争や戦争のない状態だけをいうのではない。すべての人が差別や抑圧から開放されてはじめて



分科会

1 福祉	9 文化
2 災害と女性施策	10 水の都広島
3 国際交流と平和	11 女性と政治参画
4 子育て支援	12 就労・働き方
5 メディア	13 食育
6 地球環境	14 暮らしと地域
7 キャリア教育	15 女性の「ここからだ」
8 平和とヒロシマ	16 DV

て平和といえる。」と書かれているそうです。

集って、世代や地域を越えて「真の平和」について考えると、未来に向けての何らかの仕事があり、それを続けていかなければと思いました。

男女共同参画の視点を活かして、課題に取り組む姿勢を女性がまず評価し合えるようになることも重要だと思いました。

「集う」ことの意味を……

今回の女性会議は始めて「官」の主催ではなく市民・

行政・企業などの協働だそうです。一つの目的のために集まった方々。笑顔での応対に感動しました。

集まるのか、集められるのかは分かりませんが、そこには「学び」や「気づき」が必ずあります。今回、私には特にありました。

分科会の項目を見て……

分科会の項目を見ると女性会議の概要が分かります。さらに、全体会では「男女共同参画を超えて」がテーマでした。男女平等、多様性。あなたがあなたとして、私が私として大切にされる社会です。



年を重ねて、なお元気でいるには……
はつらつ、真剣、そして楽しい、今町で流行のスポーツ。

調査

芳賀町の
22の老人クラブ

○ほとんどの老人クラブでグラウンドゴルフが行われています。

○ゲートボールは
ルールの、技術的な事で半分以下

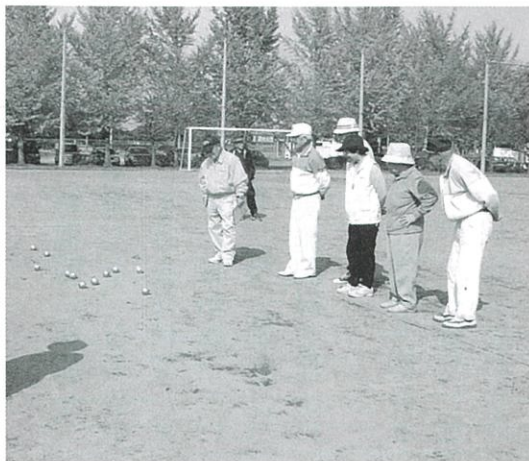
小さいこえ 大きい声

下クラブでしか行われていません。水橋地区では大会参加のとき三チームの会長チームをつくり、一般人はやっていません。
○輪投げやペタンクはグラウンドゴルフの合間に練習したり、これらの大会前に練習したりするそうです。

グラウンドゴルフ



ペタンク



輪投げ



ゲートボール



スポーツを 楽しんでいる方々の声

○集まること練習することは健康のためですが、それ以上に社交場です。手づくりの漬物や煮物を持ち寄って楽しみです。

○生きがいの一つです

○練習して大会に出て良い成績だと老人クラブが盛り上がりします。励みになります。

○運動できない人、忙しい人にも何か有るといいます。

○今まで共にやっていた人が体の具合などでやれなくなってしまうのが残念です。

☆芳賀町にグラウンドゴルフ協会ができました。

今年で二年目 年会費二〇〇円
どなたでも入会できます。

練習会、講習会に出てみてください。

☆お話を伺わせて頂きました皆様、ありがとうございました。